

令和6年度 吹田市商工業実態調査 調査結果の概要 <速報版>

I 調査の概要

調査対象	吹田市内の事業者 2,000 か所
調査方法	郵送による配布、郵送・WEB による回収
調査期間	令和6年 9 月 9 日～9 月 30 日
回収状況	有効回答数 612 件(郵送 343 件、WEB269 件) 有効回収率 33.2%(宛先不明により郵便不達の 156 件は母数から除く)

※本報告は、9 月末までの回収分による速報値のため、数値は変わることがあります。

<報告書の見方>

- (1)図表中の「n(number of case)」は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。
- (2)回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- (3)複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- (4)図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ MA % (Multiple Answer):回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
上記以外の場合は、特に断りがない限り、単数回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問です。
- (5)図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6)令和元年実施の前回調査と比較可能な設問においては、前回調査の結果との比較を行っています。

Ⅱ 調査結果のまとめ

回答事業者の概要

- ・吹田市に本社・本店をおく事業者が8割で、本社・本店を含む事業所数1事業所が6割、また、9割が従業員数300人未満、資本金5,000万円未満の事業者となっています。業種は「不動産業、物品賃貸業」、「医療、福祉」、「建設業」、「小売業」などが多くなっています。

吹田市の特性

- ・吹田市に立地していることのメリットは「交通の便が良い」、「エリアのイメージが良い」、デメリットは「地価や借地料等が高い」、「競合相手が多い」となっています。

事業所の概況

- ・直近3年間の売上高は「横ばい」が4割で最も多く、減少傾向が3割、増加傾向が2割となっており、売上増加の要因では「製品・サービスの質の向上」、減少の要因では「景気変動」が最も多くなっています。
- ・従業員数は、前年度と比較して「横ばいである」が7割で、令和6年度の新卒または中途採用も「採用していない」が7割となっています。今後、採用する意向のある人材は、「単発アルバイト・スポットアルバイト」、「子育て・介護等により勤務時間に配慮を要する人」、「副業人材」で1割程度となっています。
- ・過去5年間に事業拡大、新規参入などに着手、あるいは今後5年間に着手予定のある事業者は2割、新製品・新技術等の研究開発を実施または実施予定の事業者は1割ほどみられます。新製品・新技術等の研究開発分野では、「食品関係」、「福祉・健康・医療関係」、「情報処理関係」などが多くなっています。
- ・業務提携や産官学金民共同、協働の主要な連携先は、「同業種の他事業所」が最も多く、その所在は吹田市内、大阪府内（吹田市外）が多くなっています。
- ・IT活用の取組を実施している事業者は5割で、「ホームページ・SNSでの情報発信」が最も多くなっています。事業所内のデジタル化について必要性を感じている事業者は5割ほどみられますが、導入している事業者は3割となっています。
- DX推進に取り組んでいる事業者は1割強で、「業務・生産の効率化・コスト削減」に効果があったという回答が多くなっています。
- ・地域活動への貢献は、「住民参加の祭り・イベントの実施や協力」が最も多くなっています。

経営方針

- ・経営上の問題点については「人材不足」、「来客数・顧客数の減少」などが多く、今後重視する取組も「人材確保」や「人材育成・研修」、「新たな顧客層の開拓」が多くなっています。
- ・事業所の経営方針については「現状維持」が5割、「事業規模の拡大」が1割台で、事業拠点は「現地において事業を継続」が6割となっています。事業承継については「予定している」が2割台、「事業承継するつもりがない」、「自分の代でやめるつもり」を合わせて3割となっています。

商工振興施策

- ・融資、補助金、税制優遇、相談・イベントの各制度を知っていて、活用できている事業者は1～2%台。また、公的支援機関で活用されているのは吹田商工会議所で2割、他は2%未満となっています。
- ・市の産業活性化のために優先して取り組むべきことについては、「駅周辺の整備・活性化」、「商店街の活性化」、「中小企業への支援の充実」を求める声が多くなっています。
- ・市に望む振興施策では、「補助金等による支援」、「きめ細やかな情報発信」、「融資制度による資金繰り支援」が多くなっています。

【事業者の主な今後の取組】◎人材の確保・育成、新たな顧客層の開拓につなげる営業力の強化。
【市施策への事業者の意見】◎きめ細やかな情報発信で補助金や融資制度の活用促進。
◎駅周辺や商店街の活性化の推進。

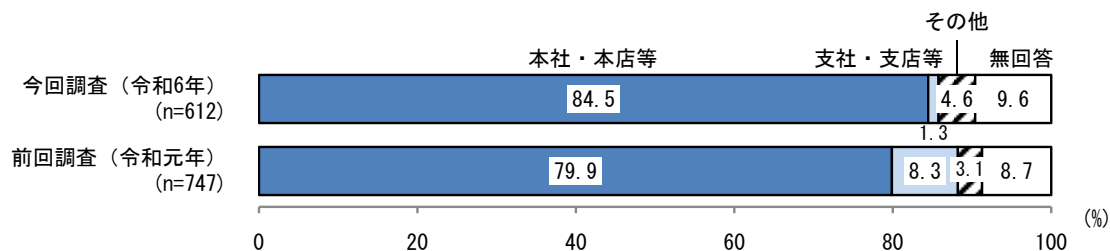
Ⅲ 調査結果

1. 回答事業者の概要

◆回答事業者の基本情報

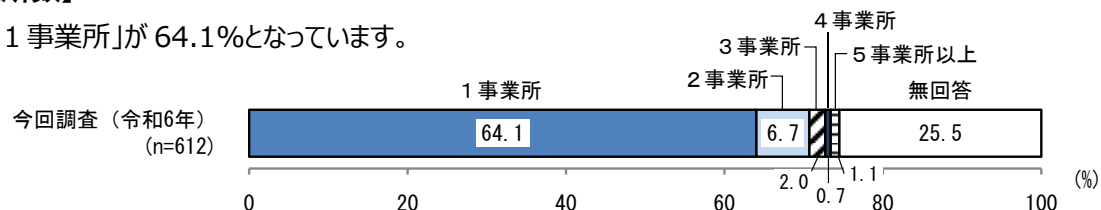
【事業所区分】

「本社・本店等」が84.5%、「支社・支店等」が1.3%となっています。



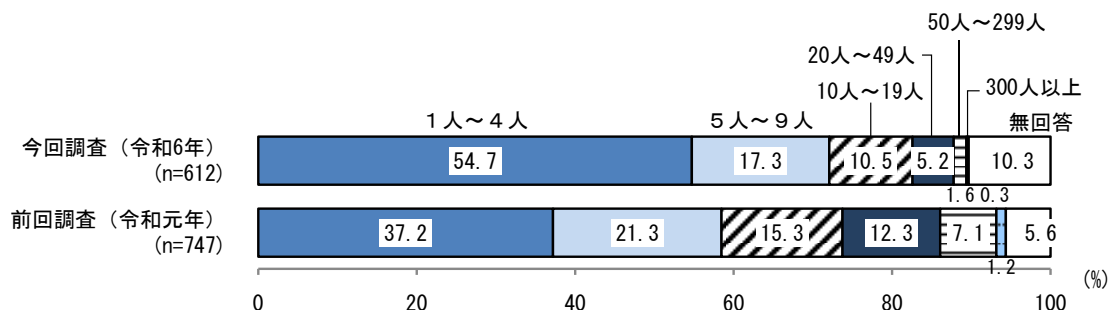
【事業所数】

「1事業所」が64.1%となっています。



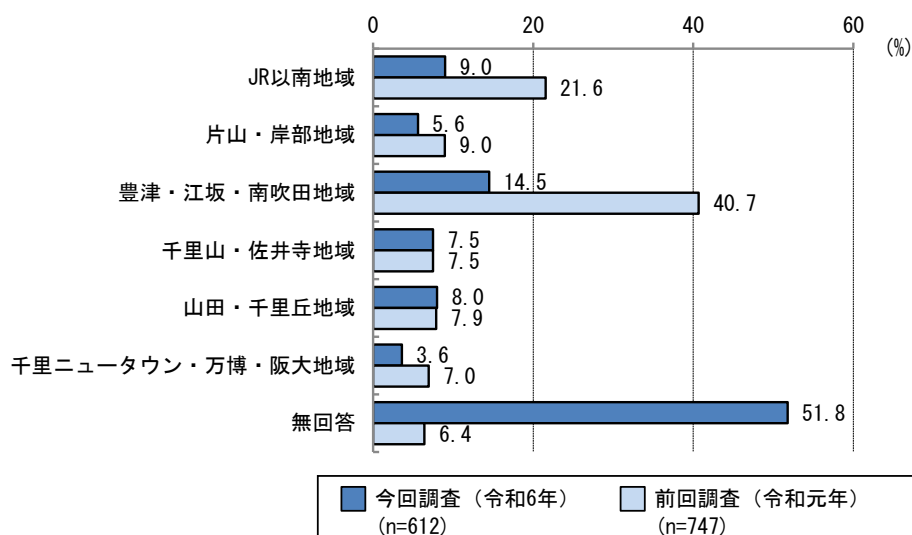
【事業所従業員数】

「1人～4人」が54.7%と最も多く、次いで、「5人～9人」が17.3%となっています。



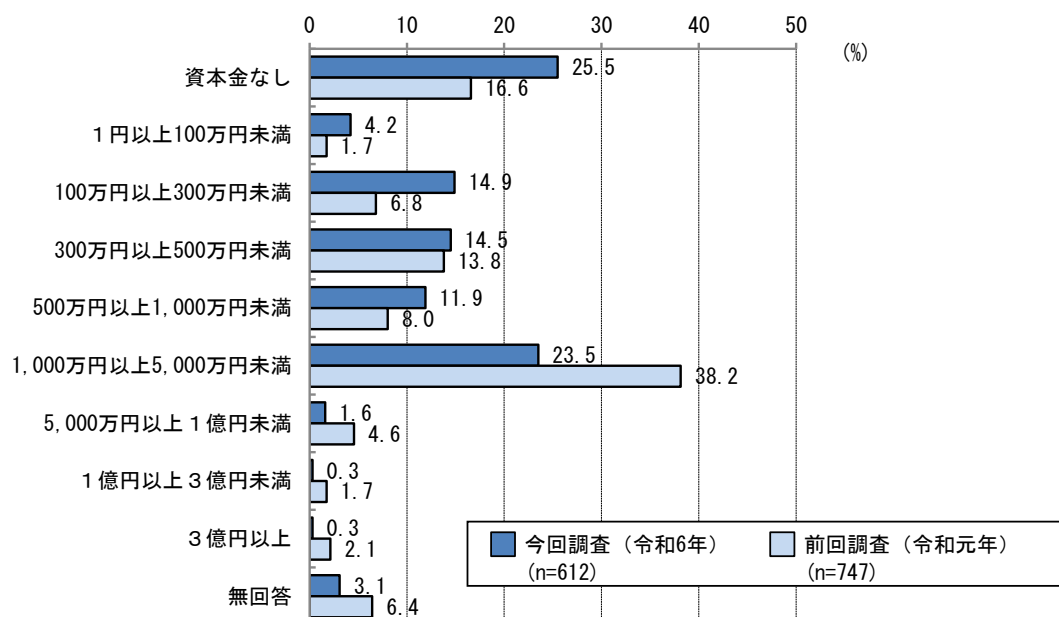
【所在地】

「豊津・江坂・南吹田地域」が14.5%と最も多く、次いで、「JR以南地域」が9.0%となっています。



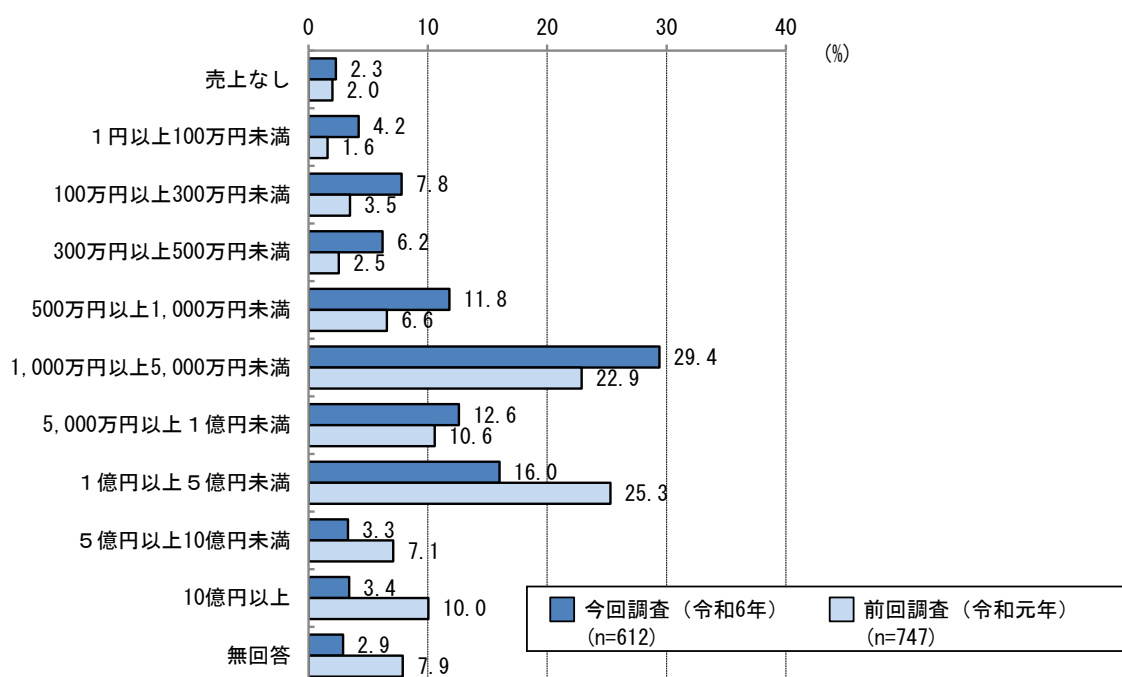
【資本金】

「資本金なし」が 25.5%と最も多く、次いで、「1,000 万円以上 5,000 万円未満」が 23.5%となっています。



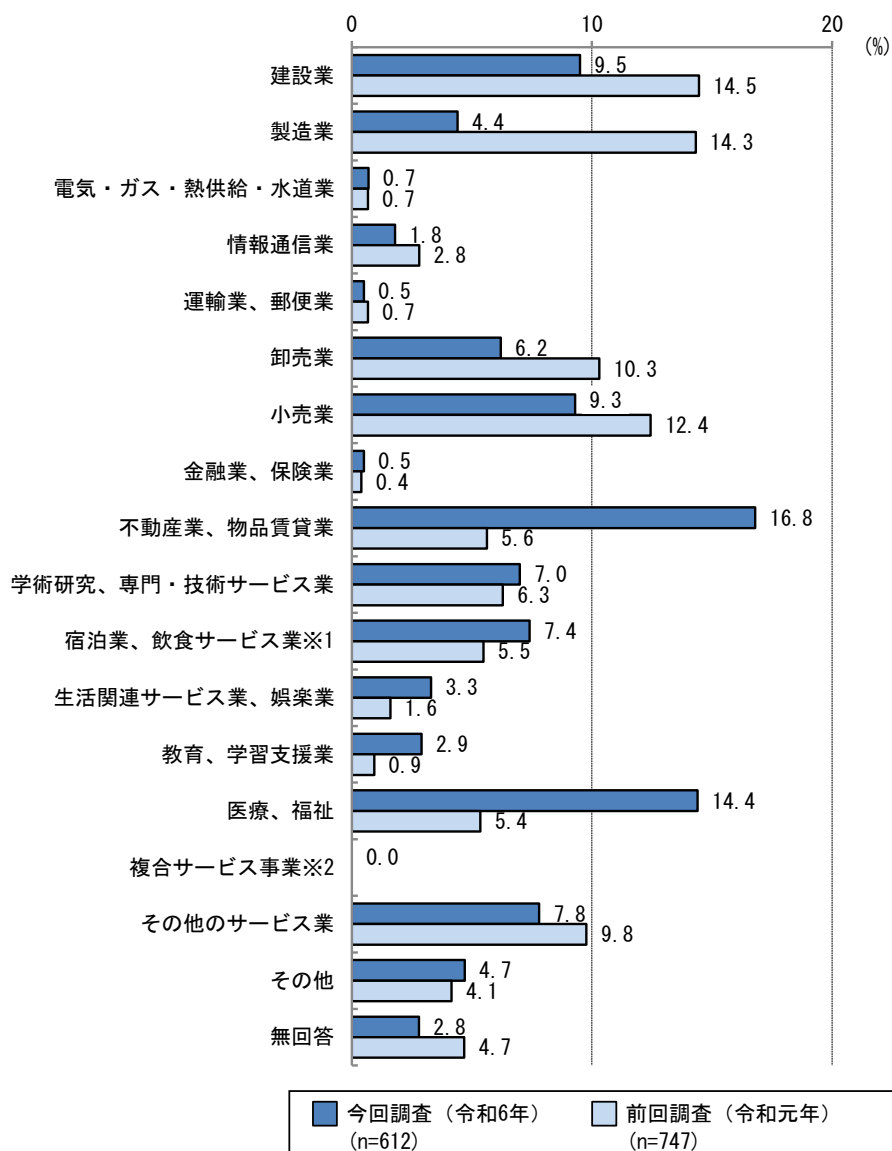
【売上高】

「1,000 万円以上 5,000 万円未満」が 29.4%と最も多く、次いで、「1 億円以上 5 億円未満」が 16.0%、「5,000 万円以上 1 億円未満」が 12.6%となっています。



【業種】

「不動産業、物品賃貸業」が 16.8%と最も多く、次いで、「医療、福祉」が 14.4%、「建設業」が 9.5%、「小売業」が 9.3%となっています。



※1 前回調査では、「宿泊業」0.1%、「飲食サービス業」5.4%

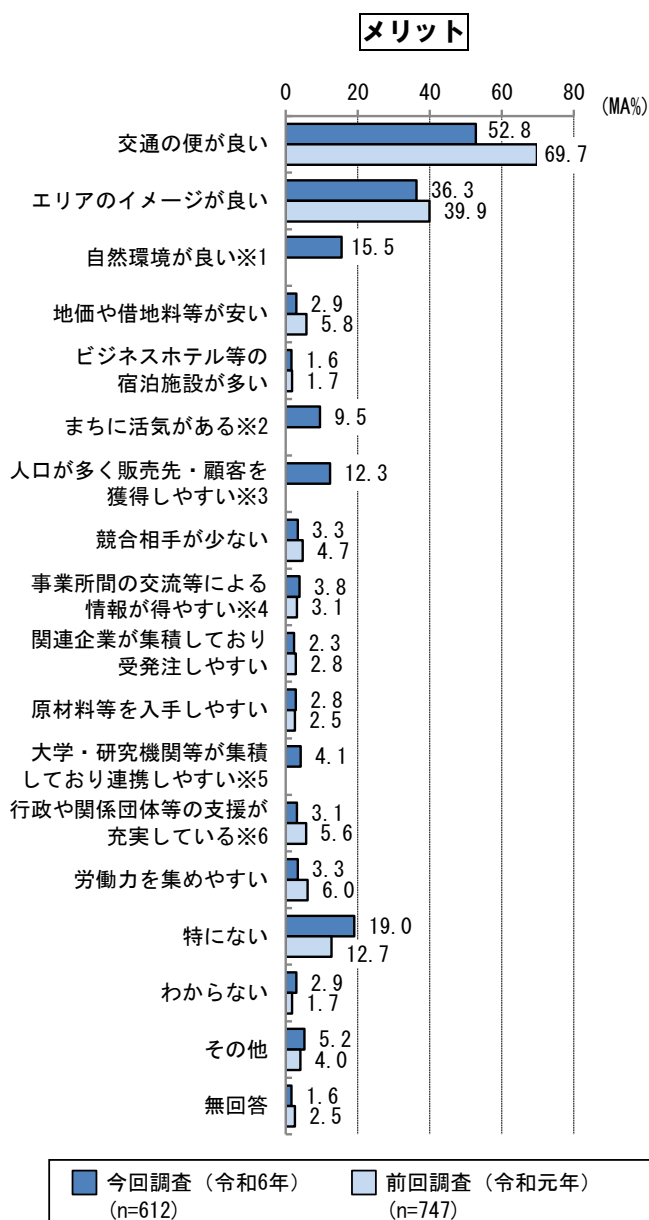
※2 前回調査では選択肢なし

2. 吹田市の特性

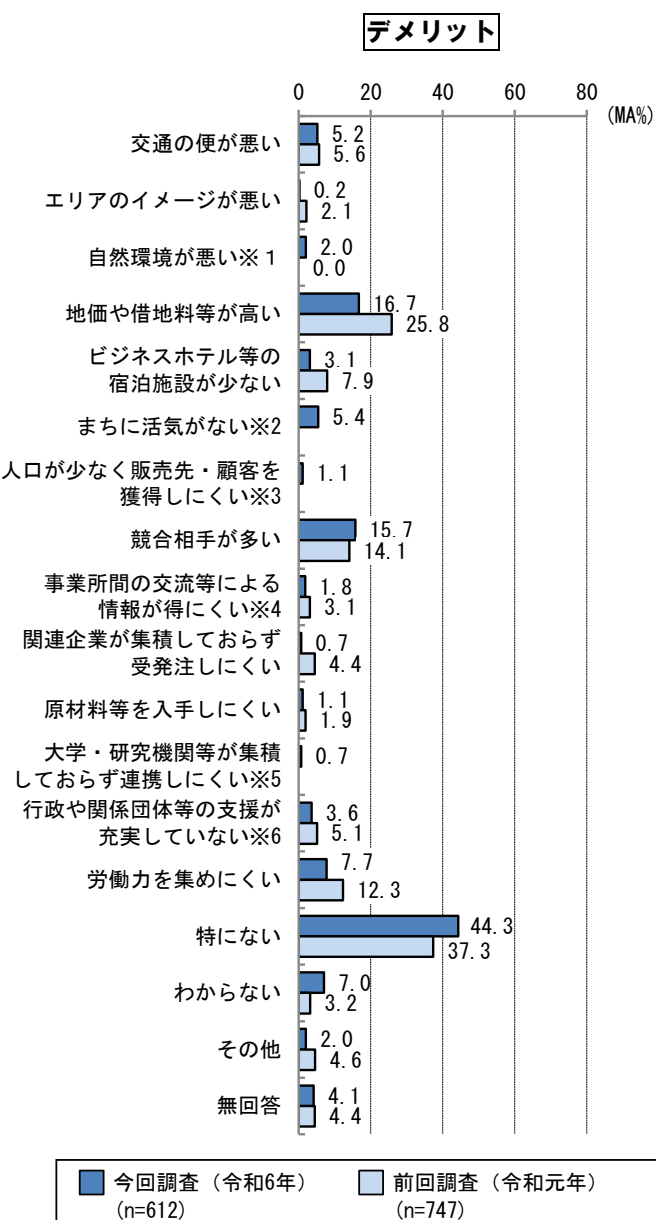
◆吹田市に立地していることのメリット・デメリット

【吹田市に立地していることのメリット・デメリット(問1、問2)】

吹田市に立地していることのメリットは、「交通の便が良い」が 52.8%と最も多く、次いで、「エリアのイメージが良い」が 36.3%となっています。デメリットは、半数近く（44.3%）が「特になし」と回答していますが、回答があった中では「地価や借地料等が高い」が 16.7%と最も多く、次いで、「競合相手が多い」が 15.7%となっています。



※1、2、3、5 前回調査では選択肢なし
 ※4 前回調査では「事業所間の情報が得やすい」
 ※6 前回調査では「行政や組合の支援が充実している」



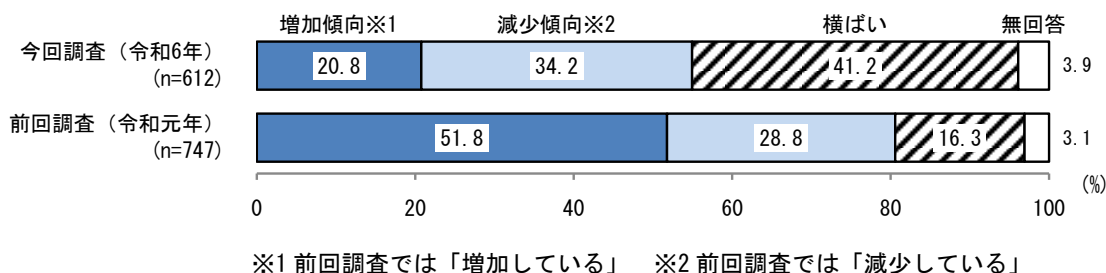
※1、2、3、5 前回調査では選択肢なし
 ※4 前回調査では「事業所間の情報が得にくい」
 ※6 前回調査では「行政や組合の支援が充実していない」

3. 事業所の概況

◆売上の動向とその要因

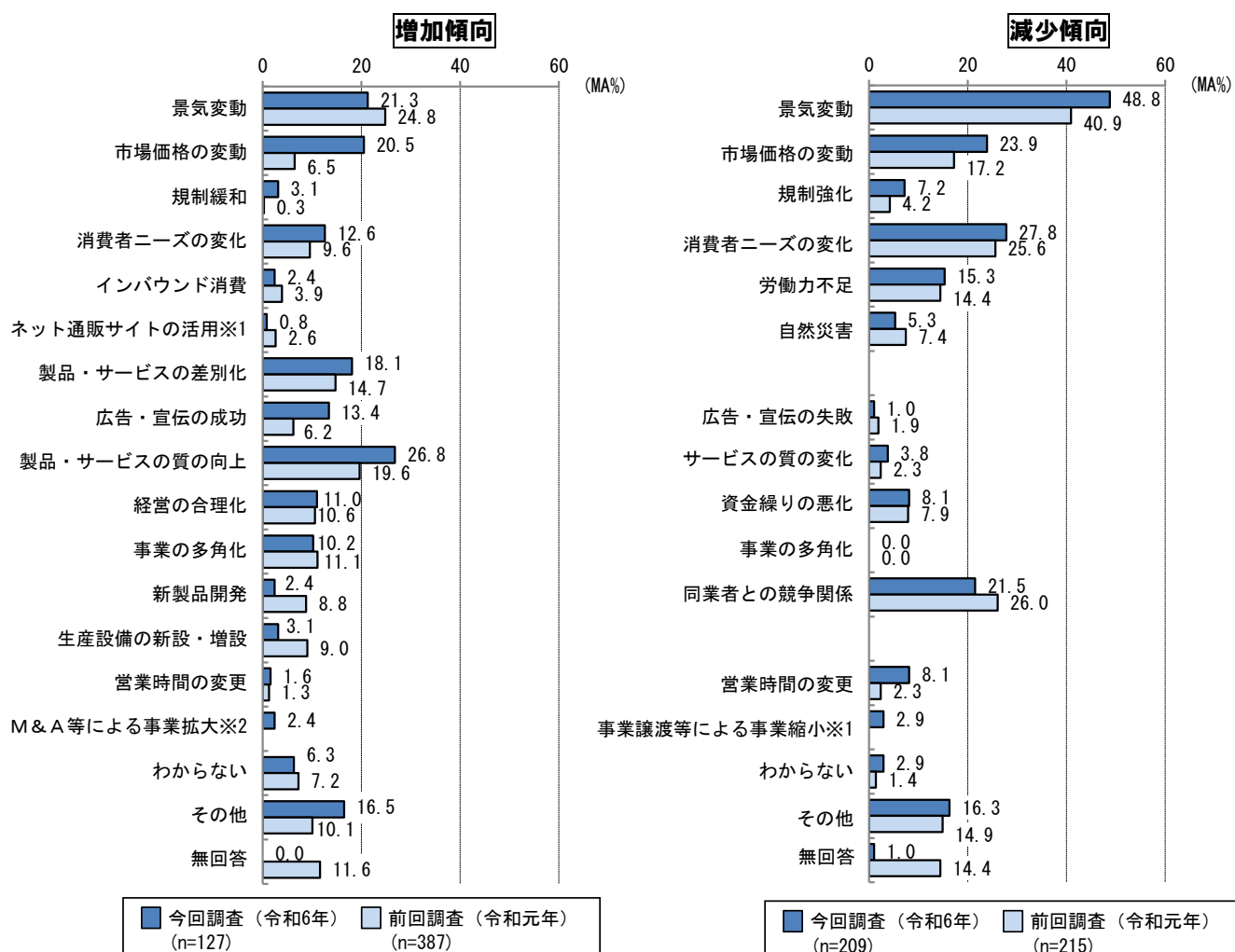
【直近3年間の売上高の動向(問7)】

直近3年間の売上高の動向は、「増加傾向」が20.8%、「減少傾向」が34.2%、「横ばい」が41.2%となっています。前回調査に比べて、「増加傾向」が31.0ポイント減少し、「横ばい」が24.9ポイント増加しています。



【売上高増減の要因(問7-1、問7-2)】

売上高増加の要因は、「製品・サービスの質の向上」が26.8%と最も多く、次いで、「景気変動」が21.3%、「市場価格の変動」が20.5%となっています。減少の要因は、「景気変動」が48.8%と最も多く、次いで、「消費者ニーズの変化」が27.8%、「市場価格の変動」が23.9%となっています。



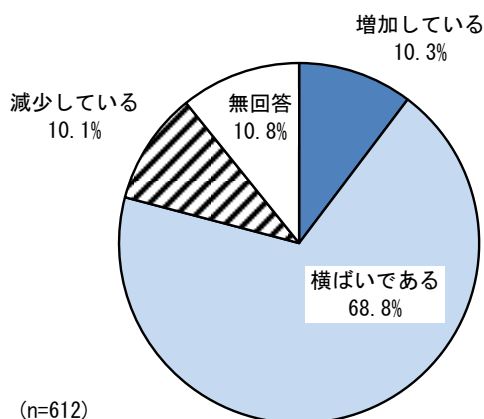
※1 前回調査では「オンライン（ネットショップ）の活用」
 ※2 前回調査では選択肢なし

※1 前回調査では選択肢なし

◆人材の確保

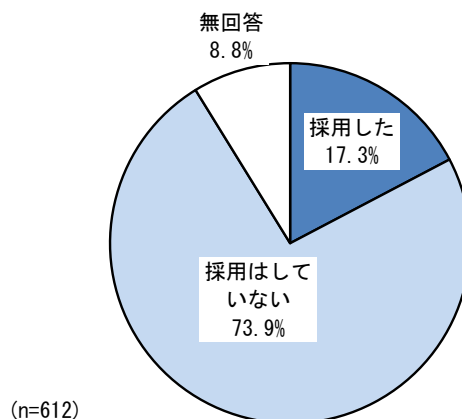
【従業員数の増減(問 9)】

従業員数は、「増加している」が 10.3%、「減少している」が 10.1%、「横ばいである」が 68.8%となっています。



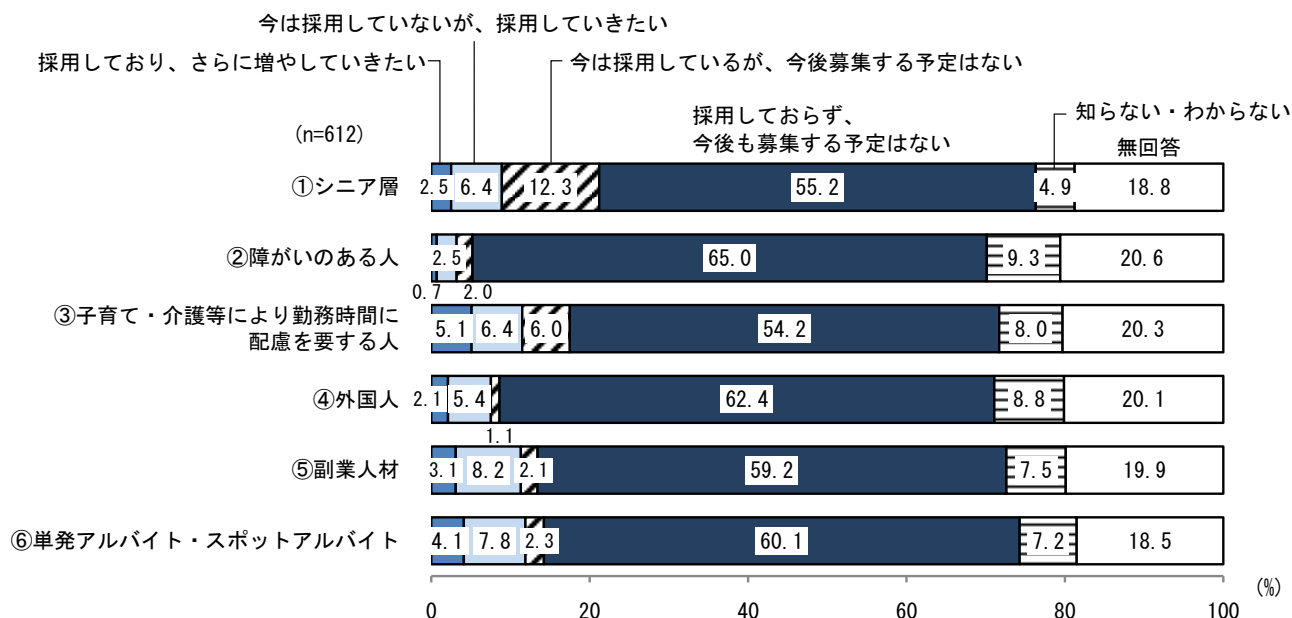
【令和6年度の採用状況(問 10)】

令和6年度の採用状況は、「採用した」が 17.3%、「採用はしていない」が 73.9%となっています。



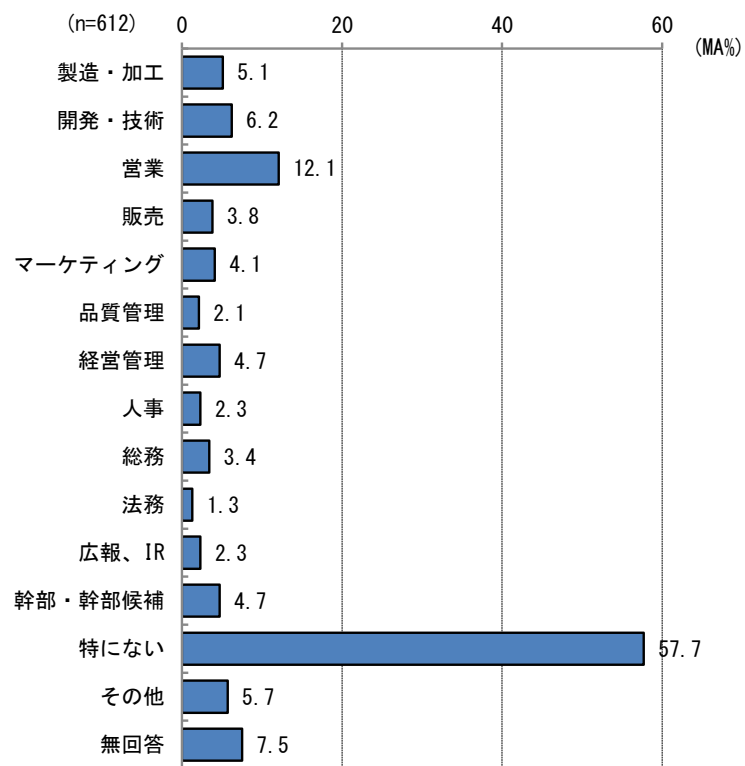
【幅広い人材の募集・採用状況(問 11)】

どの人材も「採用しておらず、今後も募集する予定はない」が半数を超えていますが、『採用意向あり』（「採用しており、さらに増やしていきたい」と「今は採用していないが、採用していきたい」の計）は<⑥単発アルバイト・スポットアルバイト>、<③子育て・介護等により勤務時間に配慮を要する人>、<⑤副業人材>で1割程度みられます。



【人材が不足している分野・部門(問 14)】

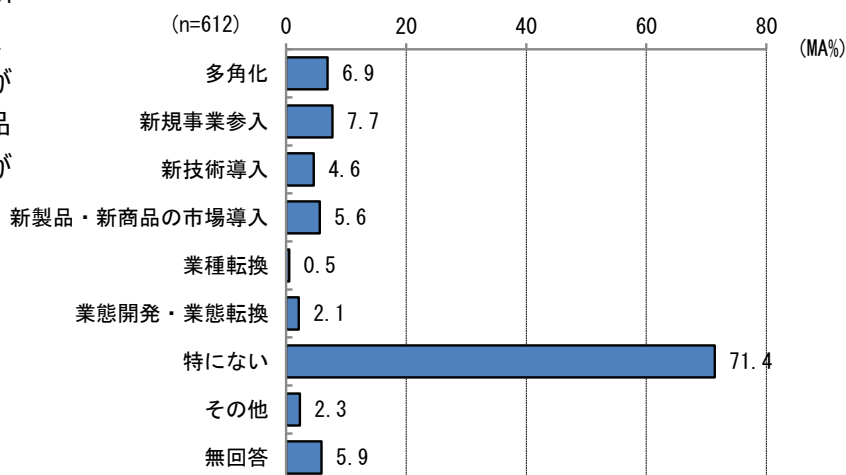
人材が不足している分野・部門は、「特にない」が 57.7%となっていますが、回答があった中では「営業」が 12.1%と最も多く、次いで、「開発・技術」が 6.2%、「製造・加工」が 5.1%となっています。



◆事業拡大、新規参入の状況

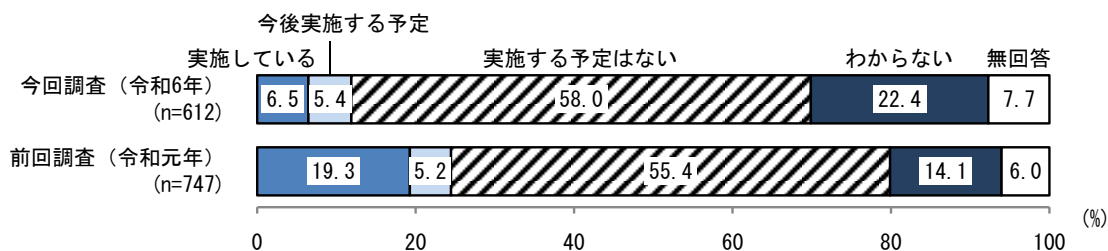
【事業拡大、新規参入の着手状況(問 15)】

事業拡大、新規参入などの着手状況については、「特にない」が 71.4%となっていますが、回答があった中では、「新規事業参入」が 7.7%、「多角化」が 6.9%、「新製品・新商品の市場導入」が 5.6%、「新技術導入」が 4.6%となっています。



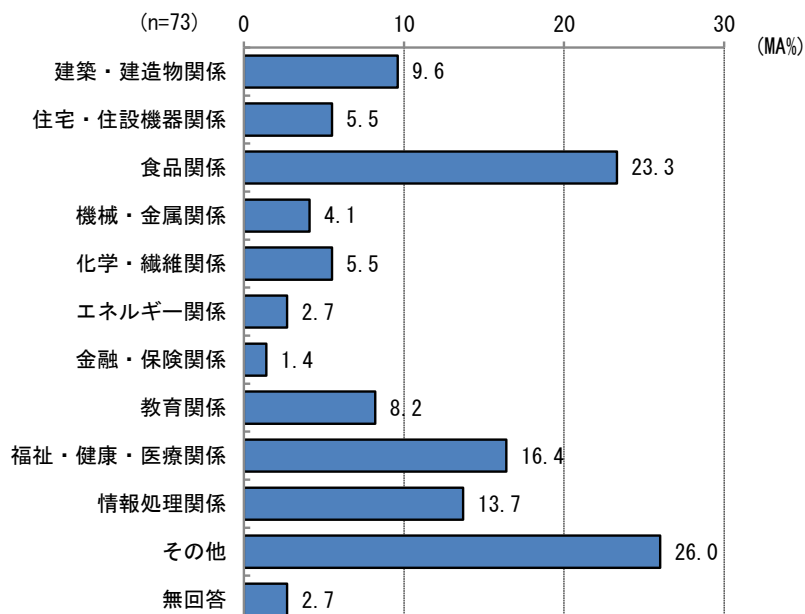
【新製品・新技術等の研究開発の実施状況(問 16)】

新製品・新技術等の研究開発を「実施している」は 6.5%、「今後実施する予定」は 5.4%で、「実施する予定はない」が 58.0%となっています。前回調査に比べて、「実施している」は 12.8 ポイント減少しています。



【新製品・新技術等の研究開発分野(問 16-1)】

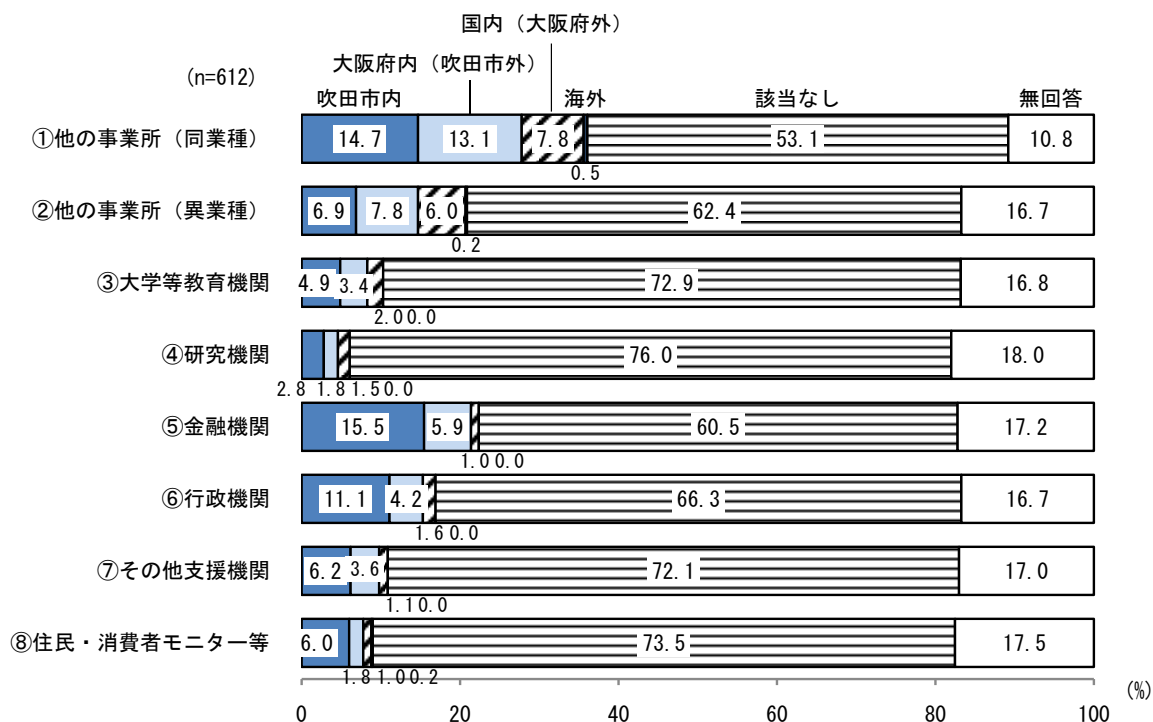
新製品・新技術等の研究開発を「実施している」、「今後実施する予定」と回答された事業者に、その研究開発分野についてたずねたところ、「食品関係」が 23.3%と最も多く、次いで、「福祉・健康・医療関係」が 16.4%、「情報処理関係」が 13.7%となっています。



◆業務提携、外部連携

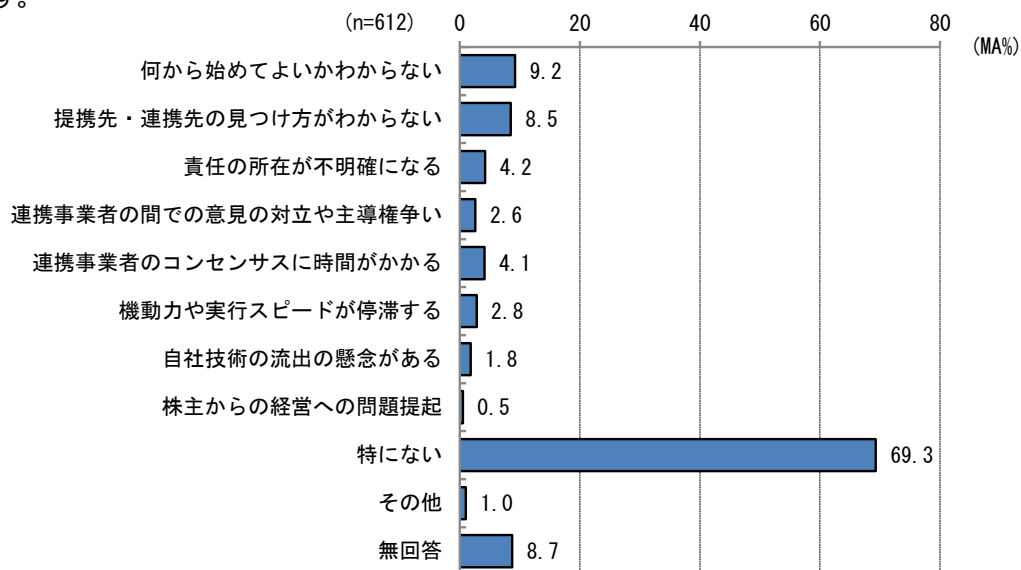
【主要な連携先(問 17)】

主要な提携先としては、＜①他の事業所（同業種）＞が 36.1%（「該当なし」以外の計）と最も多く、次いで、＜⑤金融機関＞が 22.4%、＜②他の事業所（異業種）＞が 20.9%となっています。また、その所在地は、「吹田市内」が最も多く、次いで、「大阪府内（吹田市内外）」となっています。



【業務提携や外部連携の課題(問 17-1)】

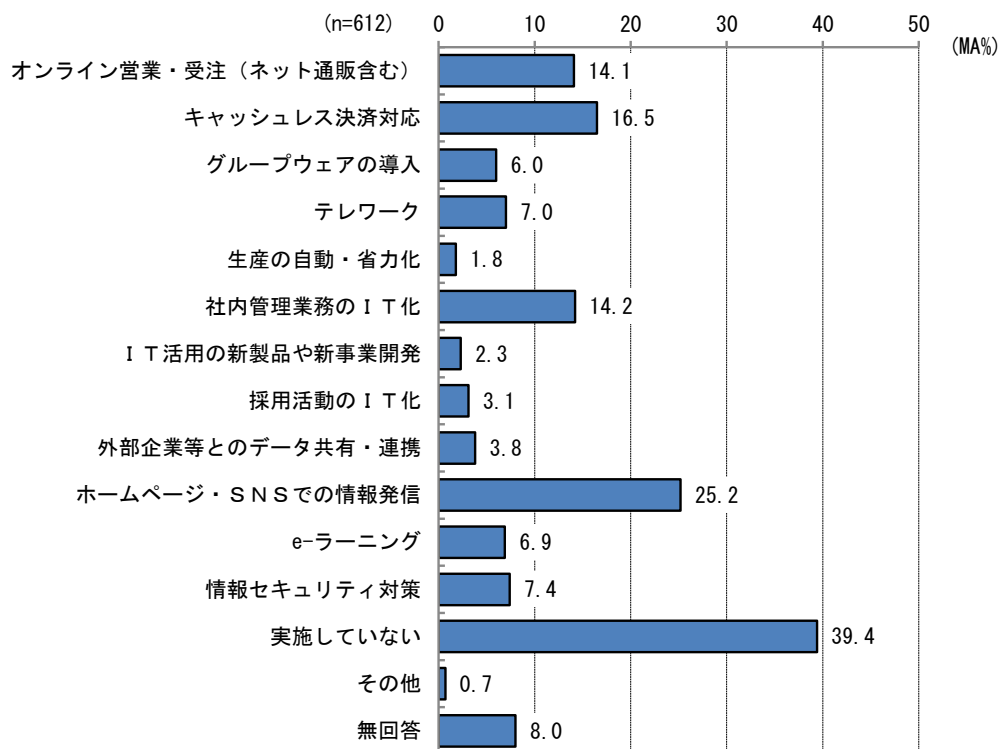
業務提携や外部連携を行うことの課題については、「特になし」が 7 割近くとなっていますが、回答があった中では、「何から始めてよいかわからない」が 9.2%と最も多く、次いで、「提携先・連携先の見つけ方がわからない」が 8.5%となっています。



◆IT 活用、デジタル化、DX 推進

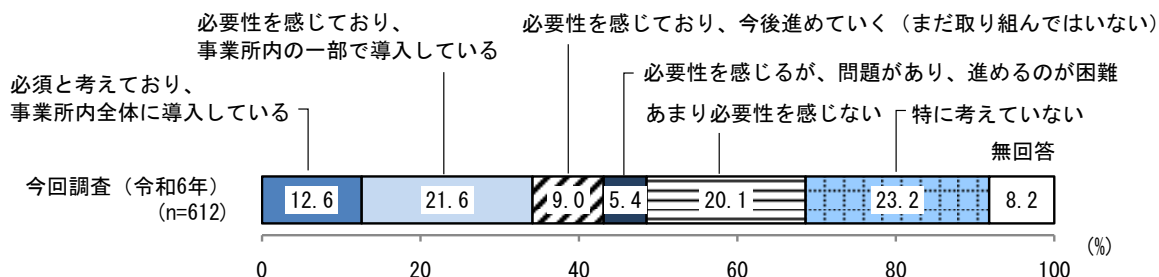
【IT 活用への取組・実施状況(問 19)】

IT 活用への取組・実施状況については、「ホームページ・SNSでの情報発信」が 25.2%と最も多く、次いで、「キャッシュレス決済対応」が 16.5%、「社内管理業務の IT 化」が 14.2%、「オンライン営業・受注（ネット通販含む）」が 14.1%となっています。一方、「実施していない」も 39.4%みられます。



【デジタル化についての考え(問 20)】

事業所内のデジタル化については、『導入している』（「必須と考えており、事業所内全体に導入している」と「必要性を感じており、事業所内の一部で導入している」の計）が 34.2%、「必要性を感じており、今後進めていく（まだ取り組んではいない）」が 9.0%、「必要性を感じるが、問題があり、進めるのが困難」が 5.4%、「あまり必要性を感じない」が 20.1%、「特に考えていない」が 23.2%となっています。

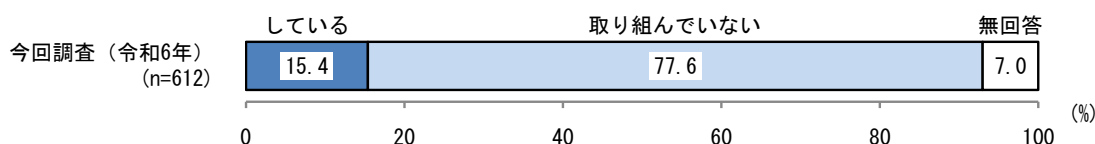


【DX 推進の取組状況(問 21、問 21-1、問 21-2)】

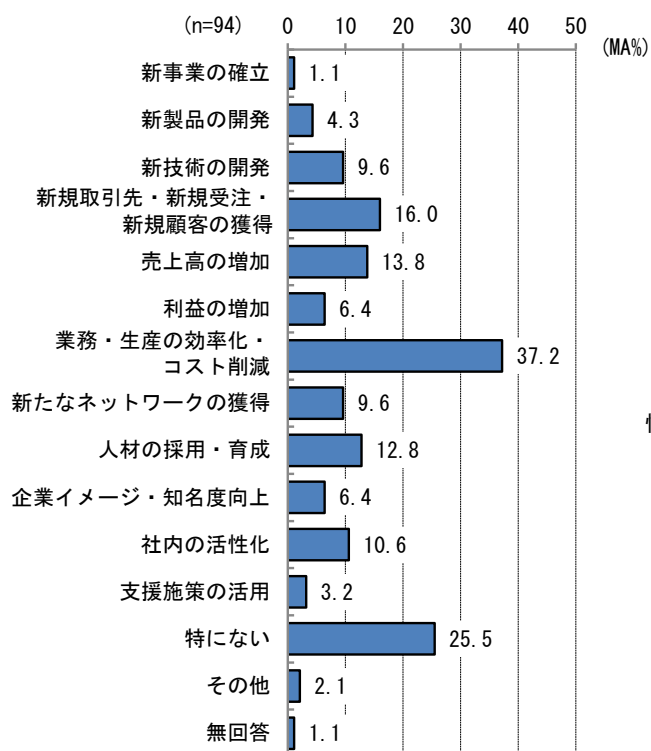
DX 推進の取組を「している」は 15.4%、「取り組んでいない」が 77.6%となっています。

取組を「している」事業者に、効果のあった取組についてたずねたところ、「業務・生産の効率化・コスト削減」が 37.2%と最も多く、次いで、「新規取引先・新規受注・新規顧客の獲得」が 16.0%となっています。

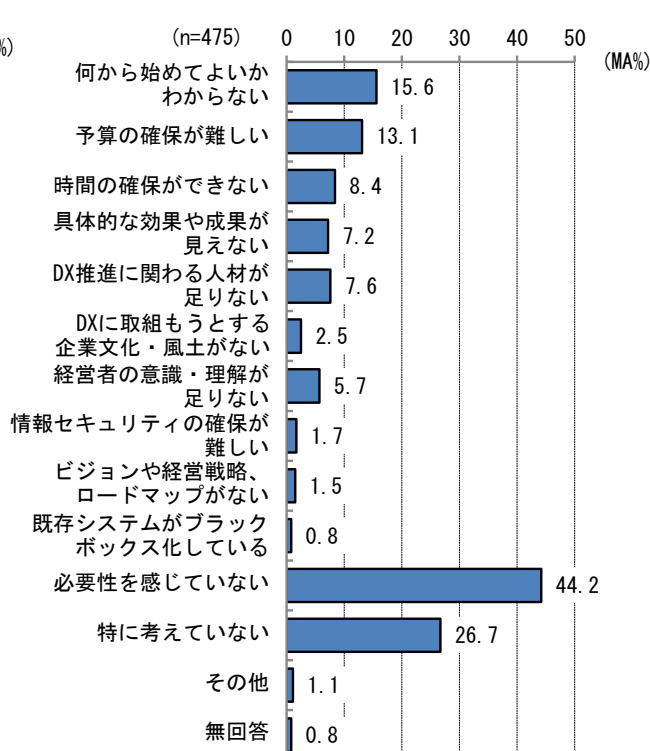
「取り組んでいない」理由では、「必要性を感じていない」が 44.2%と最も多く、次いで、「何から始めてよいかわからない」が 15.6%、「予算の確保が難しい」が 13.1%となっています。



DX 推進により効果のあった取組



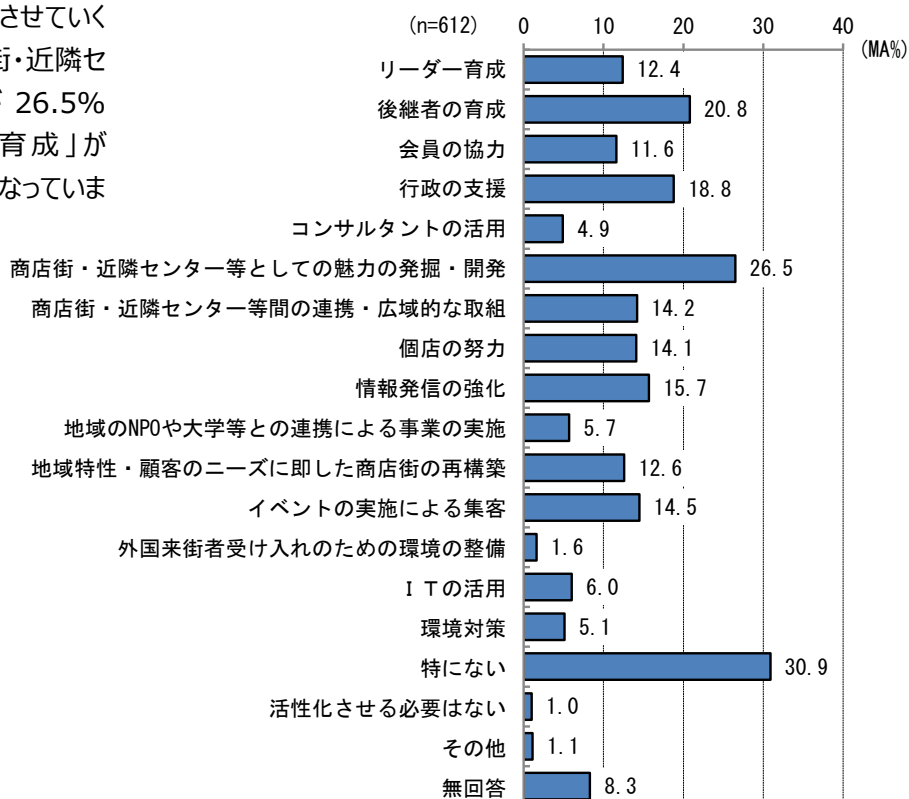
DX 推進に取り組んでいない理由



◆商店街活性化

【商店街・近隣センター等の活性化に必要なこと(問 23)】

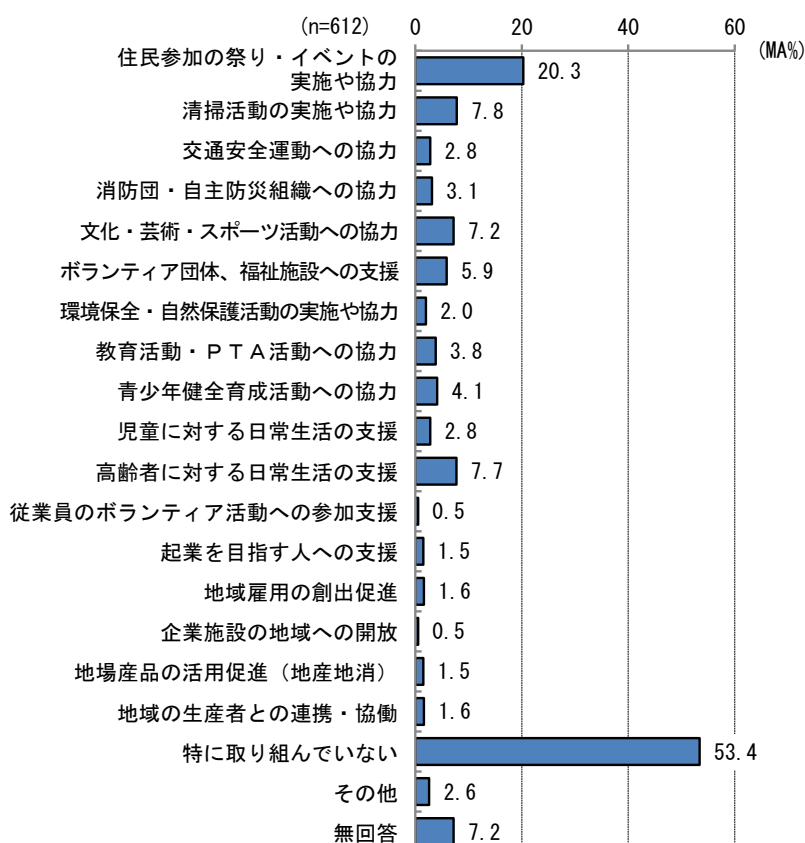
商店街・近隣センター等を活性化させていくために必要なことについては、「商店街・近隣センター等としての魅力の発掘・開発」が 26.5%と最も多く、次いで、「後継者の育成」が 20.8%、「行政の支援」が 18.8%となっています。



◆地域貢献・社会貢献活動

【現在取り組んでいる地域貢献・社会貢献活動(問 29)】

現在取り組んでいる地域貢献・社会貢献活動については、「特に取り組んでいない」が 53.4%となっていますが、回答があった中では、「住民参加の祭り・イベントの実施や協力」が 20.3%と最も多く、次いで、「清掃活動の実施や協力」が 7.8%、「高齢者に対する日常生活の支援」が 7.7%となっています。

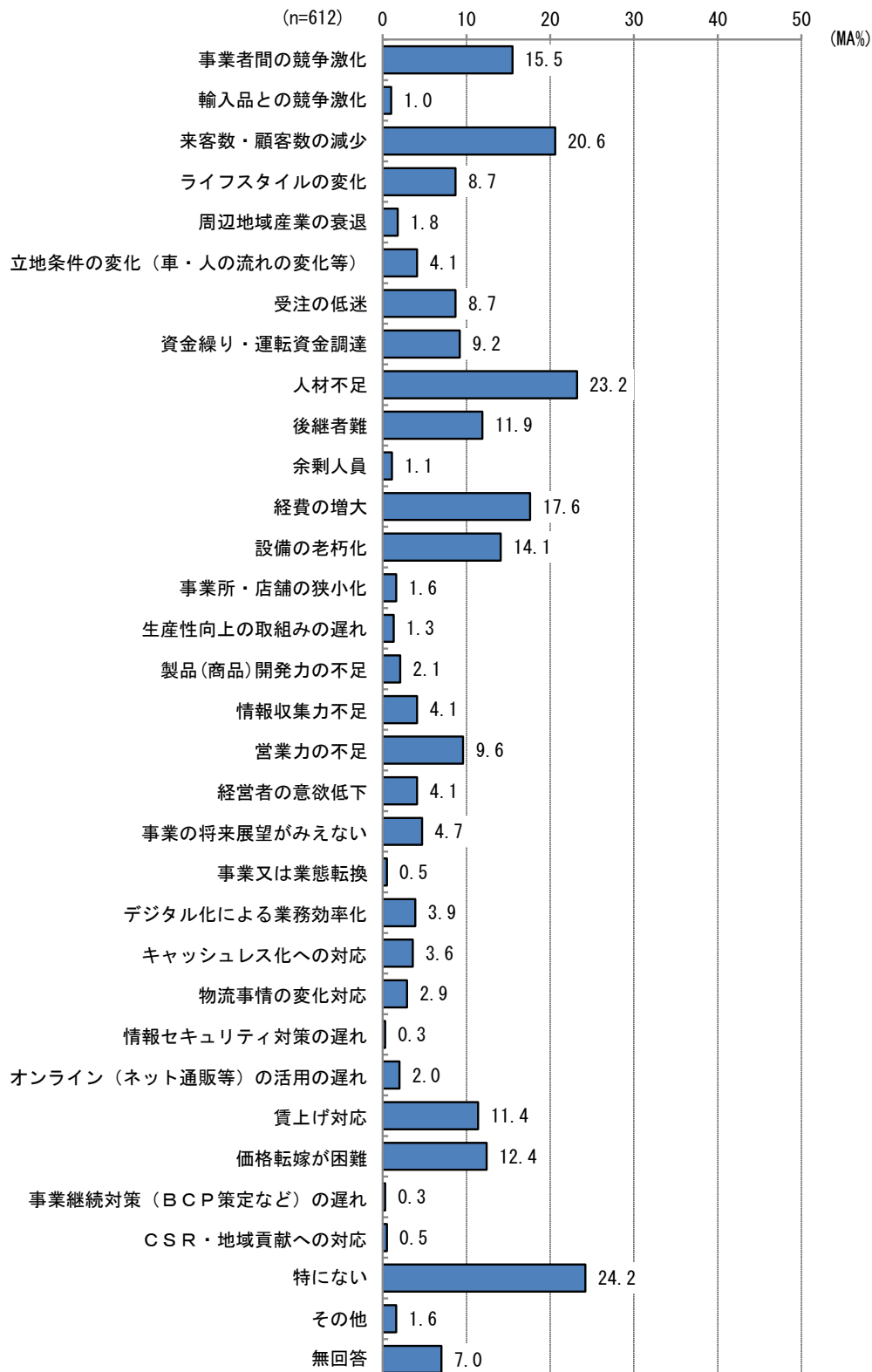


4. 経営方針

◆経営上の問題点と今後重視する取組

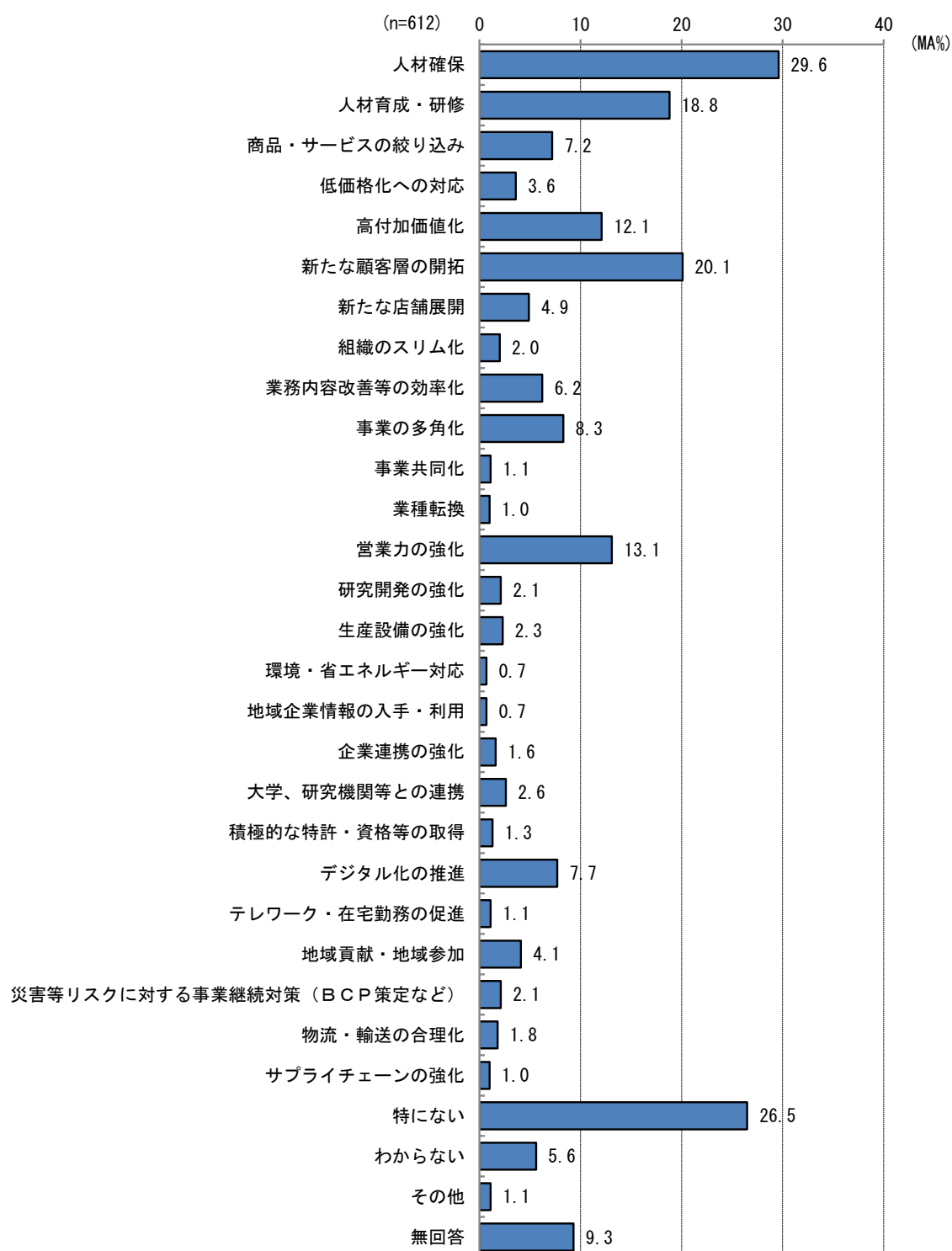
【経営上の問題点(問 25)】

経営上の問題点については、「人材不足」が 23.2%と最も多く、次いで、「来客数・顧客数の減少」が 20.6%、「経費の増大」が 17.6%、「事業者間の競争激化」が 15.5%、「設備の老朽化」が 14.1%となっています。



【今後重視する取組(問 34)】

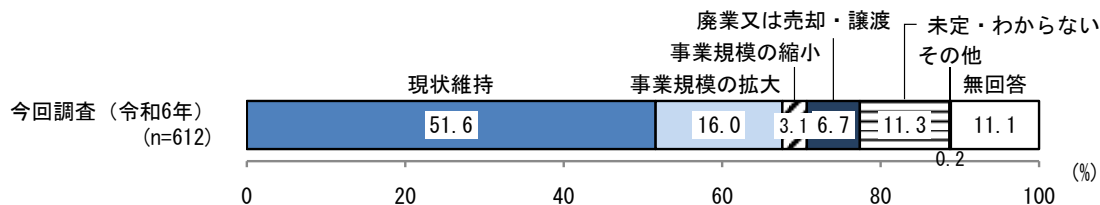
今後重視する取組については、「人材確保」が 29.6%と最も多く、次いで、「新たな顧客層の開拓」が 20.1%、「人材育成・研修」が 18.8%、「営業力の強化」が 13.1%となっています。



◆経営方針、事業承継、事業拠点

【経営方針(問 33)】

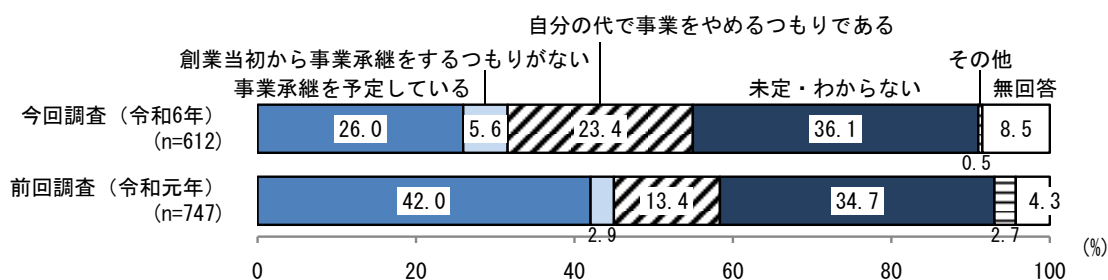
事業所の経営方針については、「現状維持」が 51.6%と最も多く、次いで、「事業規模の拡大」が 16.0%、「未定・わからない」が 11.3%、「廃業又は売却・譲渡」が 6.7%、「事業規模の縮小」が 3.1%となっています。



※前回調査では複数回答可のため比較はしていない

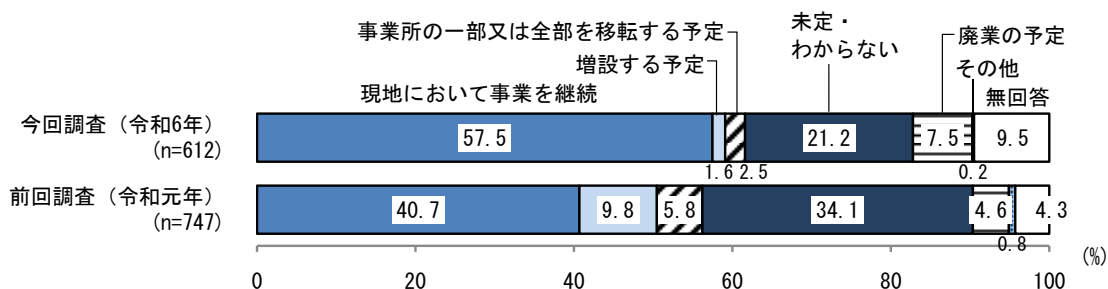
【事業承継(問 35)】

事業所の事業承継については、「事業承継を予定している」が 26.0%、「創業当初から事業承継をするつもりがない」が 5.6%、「自分の代で事業をやめるつもりである」が 23.4%、「未定・わからない」が 36.1%となっています。

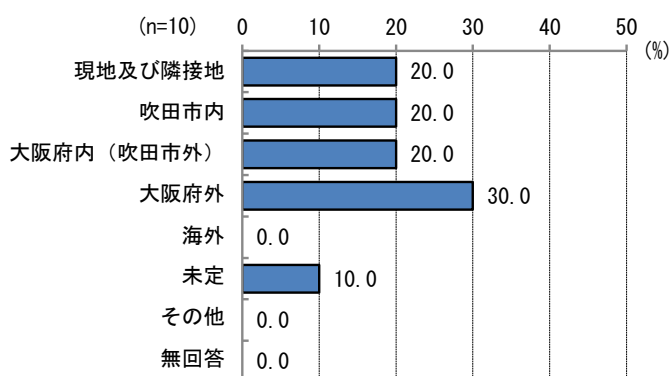


【事業拠点、増設予定地、移転予定地(問 36、問 36-1、問 36-2)】

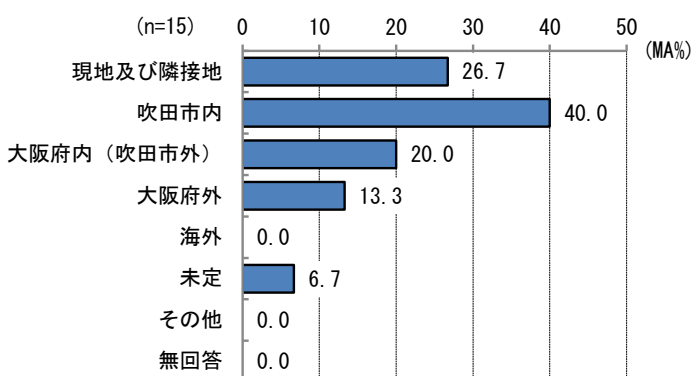
今後の事業拠点については、「現地において事業を継続」が 57.5%、「増設する予定」が 1.6%、「事業所の一部又は全部を移転する予定」が 2.5%、「未定・わからない」が 21.2%、「廃業の予定」が 7.5%となっています。



増設予定地



移転予定地

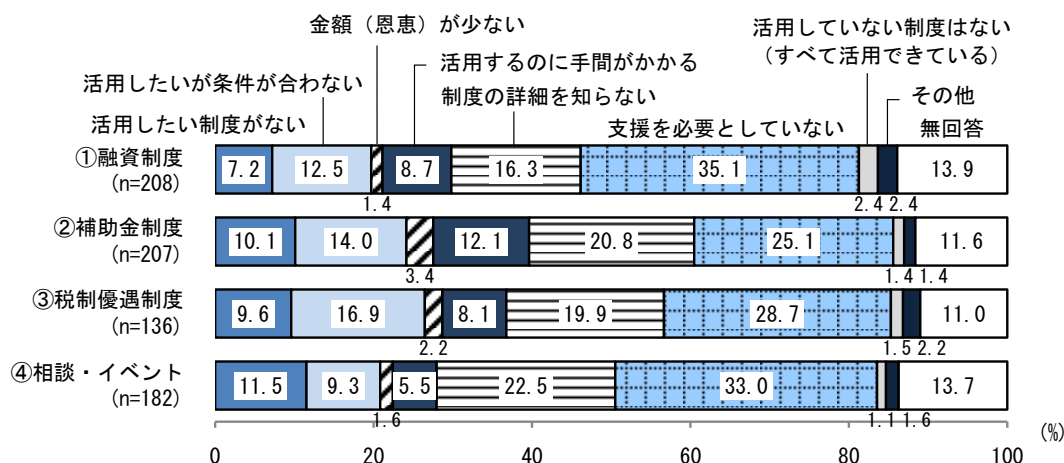


5. 商工振興施策

◆市や商工会議所等の施策・取組の認知・活用

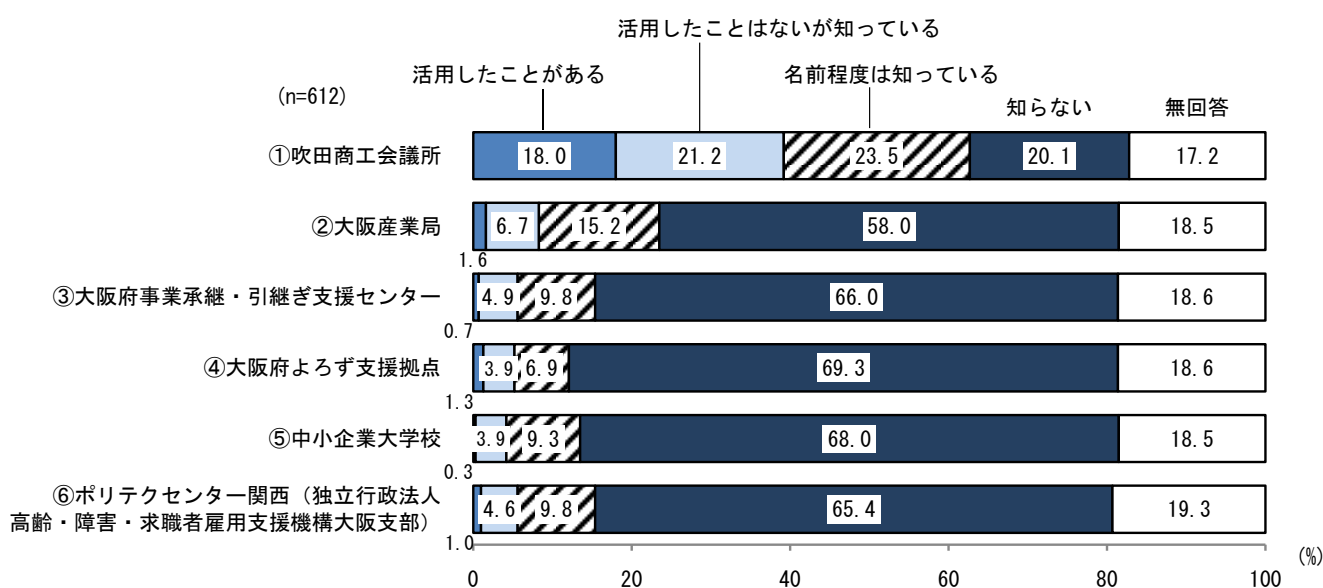
【市の制度の活用状況(問 30-1)】

吹田市の制度で知っているものについて、活用していない理由をたずねたところ、どの制度も「支援を必要としていない」が30%前後で最も多く、次いで、「制度の詳細を知らない」が20%前後、「活用したいが条件が合わない」が15%前後で続いています（＜④相談・イベント＞は「活用したい制度がない」が11.5%で「活用したいが条件が合わない」より多い）。



【公的支援機関の活用度・認知度(問 31)】

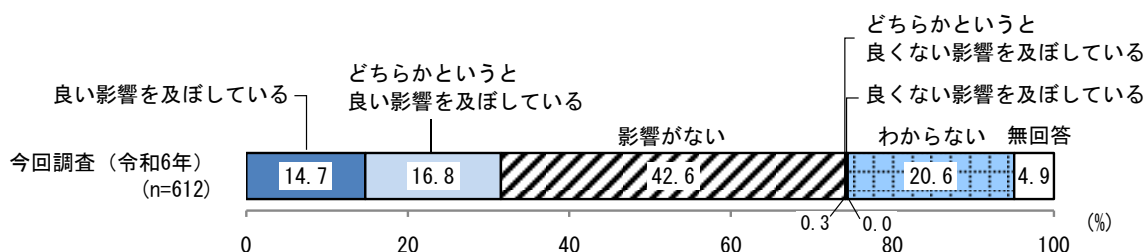
公的支援機関の認知度（「活用したことがある」、「活用したことはないが知っている」、「名前程度は知っている」の計）は、＜①吹田商工会議所＞で62.7%と最も多く、次いで、＜②大阪産業局＞が23.5%、＜③大阪府事業承継・引継ぎ支援センター＞、＜⑥ポリテクセンター関西（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）＞がそれぞれ15.4%となっています。「活用したことがある」は＜①吹田商工会議所＞で18.0%と多く、他は2%未満となっています。



◆市の産業活性化について

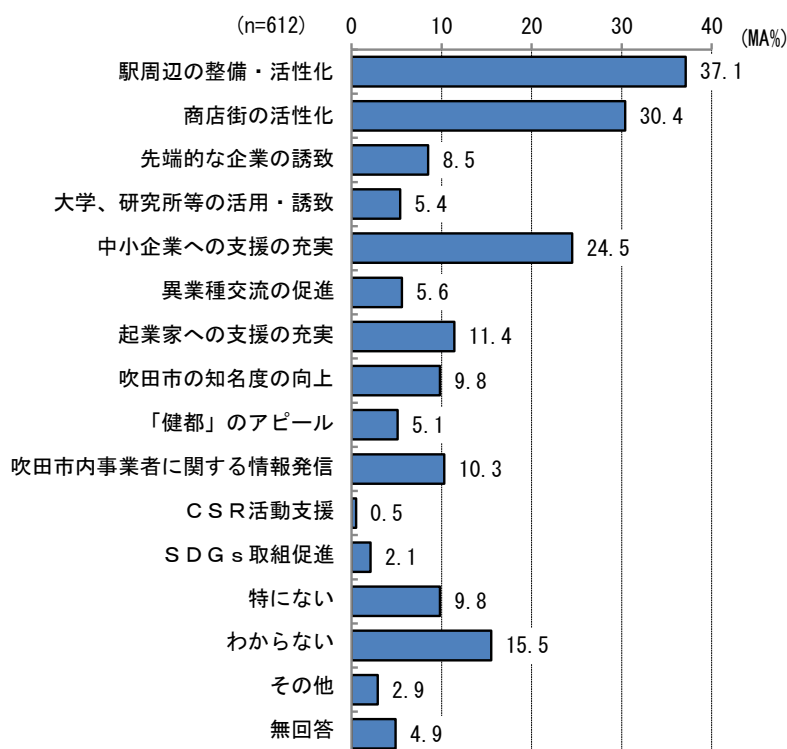
【健都地域や大学の影響(問 39)】

健都地域や大学があることの影響については、『良い影響を及ぼしている』（「良い影響を及ぼしている」と「どちらかというとも良い影響を及ぼしている」の計）が 31.5%、『良くない影響を及ぼしている』（「良くない影響を及ぼしている」と「どちらかというとも良くない影響を及ぼしている」の計）が 0.3%、「影響がない」が 42.6%となっています。



【市の産業活性化のために優先して取り組むべきこと(問 40)】

市の産業活性化のために優先して取り組むべきことは、「駅周辺の整備・活性化」が 37.1%と最も多く、次いで、「商店街の活性化」が 30.4%、「中小企業への支援の充実」が 24.5%となっています。



◆希望する商工振興施策

【吹田市に対して望む施策(問 41)】

吹田市に対して望む施策は、「補助金等による支援」が 33.8%と最も多く、次いで、「吹田市の施策のきめ細やかな情報発信」が 18.3%、「融資制度による資金繰り支援」が 18.1%となっています。

